



対面+オンライン
ハイブリッド開催

食でつながるフェスタ東京 2022

日時：7月24日(日) 11:00~16:00

会場：飯田橋セントラルプラザ+ZOOM

東京都新宿区神楽河岸1-1 JR・地下鉄飯田橋駅直結

参加費：無料

申込フォーム：<https://onl.bz/67b8Vjr>

新型コロナウイルスの影響で集まる活動への制限が続くなか、困窮世帯への弁当配布やフードパントリーなど必要に応じた新しい取組みが生まれています。アウトリーチ機能を持った食支援活動が注目される一方で、1980年代から始まった高齢者向け食事サービス活動はメンバーの高齢化などで転換期を迎えています。

食フェスタ東京は、多様な食支援団体が集まって、互いの情報を共有することで社会課題の把握と活動の継続・発展に向けたノウハウを得ることを目的に開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

主催 一般社団法人全国食支援活動協力会

共催 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター
社会福祉法人ふきのとうの会

食でつながるフェスタ東京2022

- ・ 活動団体/中間支援団体の事例から、持続可能な活動のためのノウハウを学ぶ
- ・ 寄付食品を利用する際のルールを学ぶ
- ・ 「アセット重視」で地域資源の発見と活用を学ぶ
- ・ 食支援に関わる活動団体と支援団体の交流を図る



プログラム

Session 1 <基調報告>

「食支援活動の新たな展開__高齢者から多世代の居場所づくりへ」

事例：NPO法人ゆめみ〜る 副理事長 山田 正幸さん(北海道登別市)

聞き手：立教大学コミュニティ福祉学部 教授 原田 晃樹さん

コメント：東京ボランティア・市民活動センター所長 山崎 美貴子さん

▶誰でも利用できる地域食堂を拠点に、高齢者配食サービスやこども食堂、フードパントリーなど地域に必要な取り組みを次々と実現。運営の中心メンバーは元気高齢者。「ゆめみ〜る」がどのように活動を広げてきたかをお聞きしながら、食支援活動の持続・展開を考えましょう。

Session 2 <講義>

「安全・安心な食品の取扱いについて」

公益財団法人キューピーみらいたまご財団 事務局 堀池 俊介さん

▶食品ロス削減を背景に、企業からの食品寄付が増え、活動団体を応援する大きな資源となっています。衛生管理の基本となる食中毒予防の3原則、保存管理の手順を再確認しましょう。

Session 3 <リレートーク>

「食を通じた活動における地域資源の活用と展開」

◎NPO法人みなば（北海道）

▶子どもの育ちに関わる居場所として、相談支援や不登校支援など幅広い活動を展開。地域子ども食堂は、子育ての悩みを話す親の居場所にもなっています。

◎ふれあい食堂（鳥取市）

▶誰でも参加できる「ゆるくて居心地の良い小さな空間」。社協・児童館・地域包括支援センター・学校と連携したプラットフォームの機能がある地域食堂です。

◎ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムプロジェクト（全国）

全国食支援活動協力会／キューピーみらいたまご財団

▶企業・団体との連携で全国の活動団体を応援する食糧支援のしくみについて

Session 4 <グループワークと交流>

「地域のアセットを活用して持続可能な食の居場所づくりを考えよう」

申込みと
問い合わせ



一般社団法人 MEALS ON WHEELS JAPAN

全国食支援活動協力会

<https://www.mow.jp>

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21 03-5426-2547

infomow@mow.jp